

12 課

12 課では話し手の希望などの表現の仕方を学びます。

「ほしい」は「い」で終わるので、い形容詞です。動詞に「たい」が付いた形「買いたい」は「い」で終わるので、い形容詞と同じ活用をします。

例) ほしいです → ほしくないです
買いたいです → 買いたくないです

目的

- ・ほしいもの（物・人・時間）が言える。
- ・したいと思っていることが言える。

文型

(1)(2) 話し手が物などを手に入れたいと思っているときは「N が ほしいです」を使います。
助詞は「が」を使います。

(1) おおきいテレビ が ほしいです。
(文型) **名詞** が **ほしいです**

例) 新しいパソコン が ほしいです。
自転車 が ほしいです。
ペット が ほしいです。

- ・外国人は、よく以下のような間違いをします。「～がほしいです」は動詞には使えません。
× 教えますほしいです。
× 食べるほしいです。

(2) どんな カメラ が ほしいですか。
(文型) **どんな** **名詞** が **ほしいですか**

にほんのカメラ が ほしいです。

(文型) **い形容詞/な形容詞 + な/名詞 + の** + **名詞** が **ほしいです**

例) どんなかばんがほしいですか。 — 軽いかばんがほしいです。
どんなコートがほしいですか。 — 暖かくて軽いコートがほしいです。

- ・「もの」ではない以下のような名詞にも使うことができます。

○ 時間がほしいです。
○ 休みがほしいです。
○ 仕事がほしいです。
○ 友達がほしいです。

- ・「～がほしいです」は、第3者の希望を表すことはできず、話し手自身の希望を表す場合に使います。第3者の希望を表す場合は、「ほしがる」という動詞を使います。

○ 私は車がほしいです。
× 田中さんは車がほしいです。(○ 田中さんは車を欲しがっています。)

- ・動作性名詞：「勉強する、旅行する」のように「する」をつけて動詞化できる名詞には使えません。

× 勉強がほしいです。
× 旅行がほしいです。
× 買い物がほしいです。

(3) あたらしいパソコン を (が) かいたいです。

(文型) **名詞** を (が) **ます形 (ます)** + **たいです**

話し手が何かをしたいと思っているときは「動詞たいです」を使います。
「動詞たいです」は「ます形」の「ます」を取って「たいです」をつけます。(買いますたいです)。

- ・「買います」のような「～ます」の形を動詞の「ます形」といいます。

- ・「ほしい」も「～たい」も「い形容詞」です。

例) 旅行に行きたいです。
日本の会社で働きたいです。
友達に会いたいです。
彼女と結婚したいです。

- ・この文型には「を」使っていますが「が」も同様に使えます。

「～が食べたい」「～を食べたい」は、助詞「が」「を」は両方使えますが、練習は「を」を使います。実際には「を」を使うことが多いですが、「食べたいです、飲みたいです」は「が」もよく使います。

- ・「～たいです」では、第三者の希望を表すことができません。

○ 私はリンゴを(が)食べたいです。
× 田中さんはリンゴを(が)食べたいです。

(4) なにか たべたいですか。 なにも たべたくないです。

(文型) **なにか** **ます形 (ます)** + **たいですか** なにも **ます形 (ます)** + **たくないですか**

具体的な物の名前を聞くのではなく、希望する物の有無を聞く場合は「何か」を使います。

食べたい物の名前を聞く場合

「何を(が) 食べたいですか」 → 「りんごを(が) 食べたいです」

食べたいものがあるかどうかを聞く場合

「何か食べたいですか」 → 「はい、食べたいです／いいえ、食べたくないです」

30 課

21 課では可能を表す文型「～ことができます」が出てきましたが、この課では同じ表現を「可能形」でいう言い方を学びます。

目的

可能形を使って、何ができるのか、何ができないのかを表現できる。

可能形

動詞の活用形の1つに「可能形」があります。

この形は「書けます」のように可能の意味を表すので、こう呼ばれます。

「可能形」の作り方は、サブシートに記載されています。

☞『THANK's 初級会話テキスト』 サブシート G8 「可能形」

文型

(1) わたし は ひらがな が かけます。
(文型) **名詞** が **可能形**

「可能形」の意味は2つあります。

人の能力を表す場合と、ある状況での可能を表す場合です。

例) 日本料理が作れます。(能力)

納豆が食べられません。(能力)

このマンションでペットが飼えます。(状況)

このカフェでは、インターネットが使えません。(状況)

・ 可能形の前の助詞「を」は「が」に変わります。

例) ひらがなを書きます。→ ひらがなが書けます。

・ 「を」以外の助詞は変化しません。(に、で、へ、等)

例) 富士山に登ります。→ 富士山に登れます。

車で行きます。→ 車で行けます。

(2) くるま の うんてん が できます か。 いいえ、できません。
(文型) **名詞** が **できます** か いいえ、**できません**

3 グループの動詞「します」の可能形は「できます」です。

例) サッカーをします。→ サッカーができます。

料理をします。→ 料理ができます。

(3) まど から うみ が みえます。
(文型) **名詞** が **みえます**

「可能形」の「見られます」に似た「見えます」という動詞がありますが、意味が違います。

「見えます」(可能形)

例) 今日は時間があるからテレビが見られます。(見ることができる状況である)
私の国で日本のアニメが見られます。(見ることができる状況である)

「見えます」

視覚能力があつたり、遮るものがないで目に入るものの場合は「見えます」を使います。

例) 窓から富士山がよく見えます。(遮るものがないで自然に目に入る)

猫は暗いところでも物が見えます。(視覚能力がある)

(4) はなび の おと が きこえます。
(文型) **名詞** が **きこえます**

「可能形」の「聞けます」に似た「聞こえます」という動詞がありますが、意味が違います。

「聞けます」(可能形)

例) 仕事が休みなので、音楽がゆっくり聞けます。(聞くことができる状況である)
イヤホンを買ったので、電車の中でも音楽が聞けるようになりました。(聞くことができる状況である)

「聞こえます」

聴覚能力があつたり、声や音が自然に耳に入ってくる場合は「聞こえます」を使います。

例) 隣の部屋から歌が聞こえます。(声や音が自然に耳に入る)

イルカは遠くの音が聞こえます。(聴覚能力がある)

外国人学習者のための文法説明

30 課

(1) (2) 「書けます」のように可能の意味を持った動詞の形を「可能形」という。

サブシート G8 参照。

(3) (4) 「可能形」の「見られます」と「聞けます」に似た「見えます」と「聞こえます」という動詞があるが、意味が違うので注意すること。

例: 猫は暗いところでも物が見えます。

(視覚能力がある)

天気がいいから富士山がよく見えます。

(遮るものがないで目に入る)

今日は時間があるからテレビが見られます。

(見ることができる状況である)

例: 耳がいいから遠くの音も聞こえます。

(聴覚能力がある)

隣の部屋から歌が聞こえます。

(声や音が耳に入る)

今日は時間があるから CD が聞けます。

(聞くことができる状況である)

※ 『THANK's 初級会話テキスト』(9か国語版) 文法説明日本語訳